

神津島村・火山防災マップ

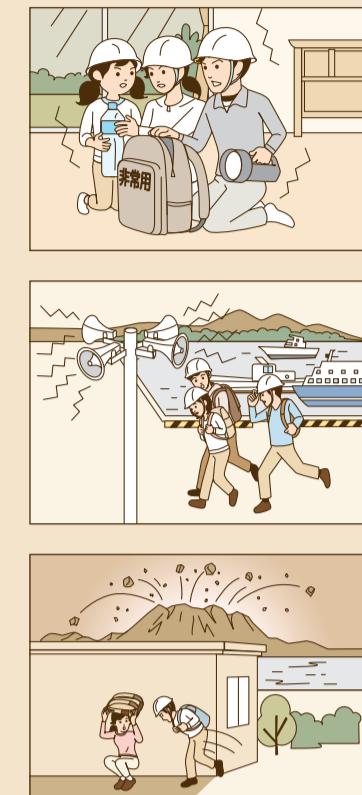
神津島村役場
総務課
2022年〇月発行

伊豆諸島の島々は、海底火山が成長し海の上に顔を出したものです。神津島も火山のひとつであり、島内すべての場所に火山災害の危険性があります。「神津島村・火山防災マップ」は、発生が予測される火山現象とその影響範囲、安全な避難方法や避難場所、日常の備え等を示しています。火山を知り、災害時に安全に避難していくことを目的に作成しました。

1 安全のための基本行動

A 「噴火前に避難」が命を守る!

- 噴火後の避難では間に合わないこともある。
- 島内は、全ての場所で噴火の可能性がある。
- 噴火が大規模になると、島内に安全な避難先や避難方法がない。



B 「避難指示」が発令されたら、すぐに避難を!

- 「避難指示」は役場が発令し、防災行政無線、広報車等でお知らせします。

C 噴火したら、命を守る行動を!

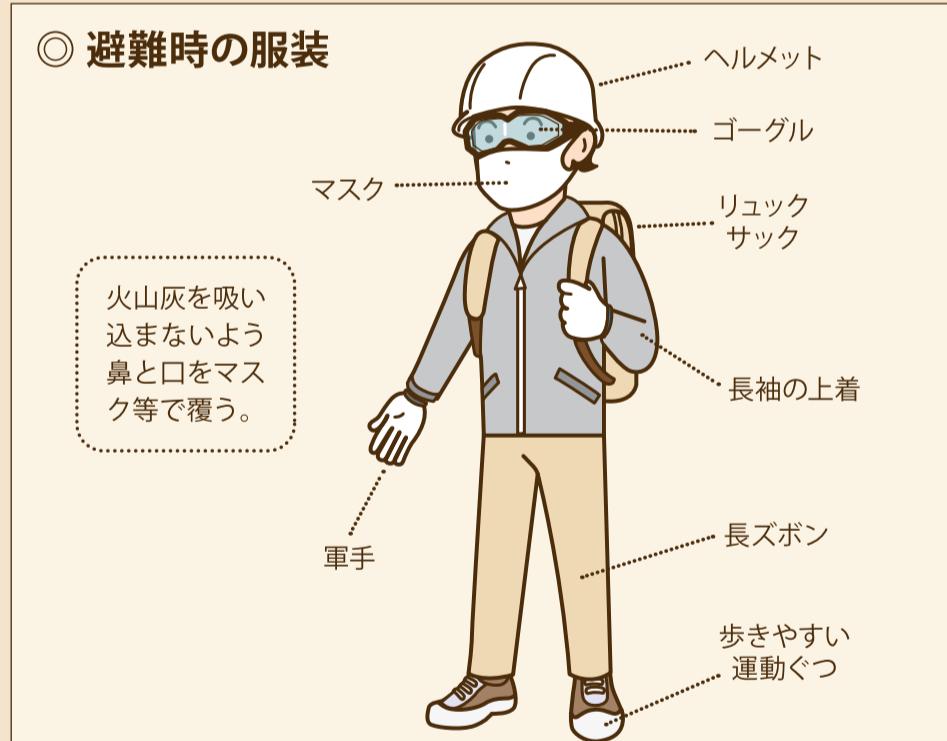
- 岩石を避け、すぐに堅牢な建物の中へ。
- 岩や構造物の陰に隠れ、カバン等で頭を守る。
- 火口からできるだけ遠ざかる。



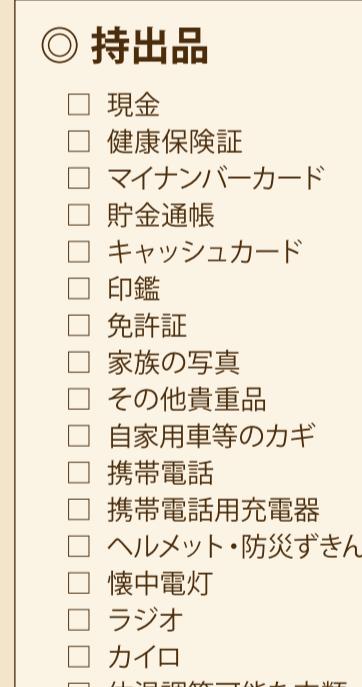
◎ 日頃~避難時に気をつけること

- | | |
|----------|--|
| 日頃の備え | ○ 避難所や避難方法を確認しておく。
④ 避難について
③ 備えについて |
| 火山活動が活発化 | ○ テレビ・ラジオ等の火山情報を注視する。
○ 事前に島外へ自主避難する場合、役場に連絡先を報告する。 |
| 避難前 | ○ 気象器具の消火を確認し、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る。
○ 近隣への声かけ、高齢者等の避難支援にも協力する。 |
| 避難時 | ○ 避難場所への避難は、歩徒を基本とす。
④ 避難について
③ 備えについて
○ ヘルメット、ゴーグル、マスク等を着用する。
○ 避難説導者（役場職員、警察官、消防団員等）の指示に従う。
○ ベットと避難する場合、キャリーバッグ等に入れ、餌・トイレ等を携行する。 |

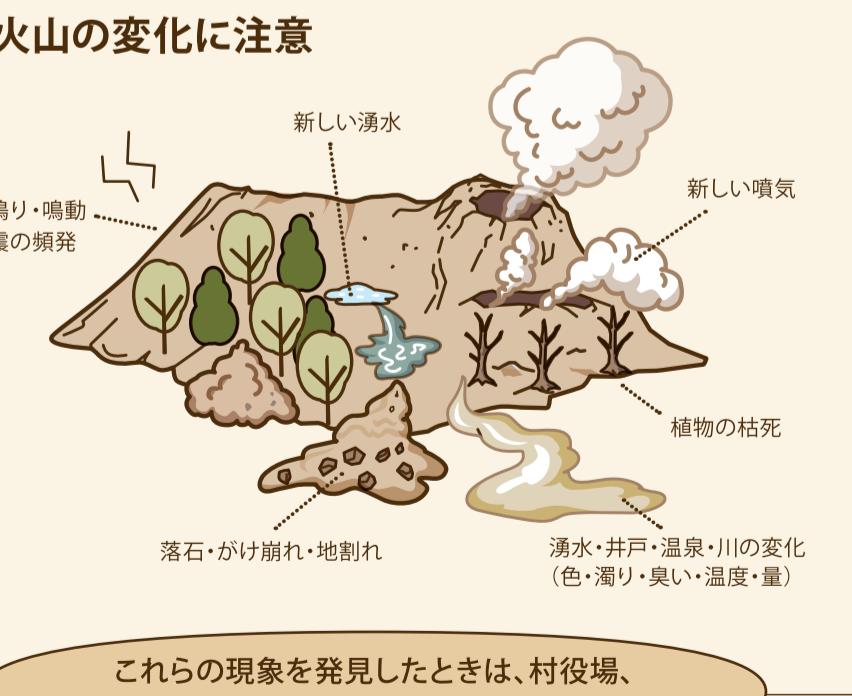
3 備えについて



◎ 避難時の服装



- 現金
- 健康保険証
- マイナンバーカード
- 貯金帳
- キャッシュカード
- 免許証
- 家族の写真
- その他貴重品
- 自家用車等のカギ
- 携帯電話
- 携帯電話用充電器
- ヘルメット・防災ずきん
- 懐中電灯
- ラジオ
- カイロ
- 体温調節可能な衣類
- レインコート・雨具
- マスク
- 手袋
- ゴーグル
- タオル
- 洗面用具
- 常備薬
- 絆創膏
- 包帯
- 飲料水
- 非常食・携行食
- 粉ミルク・ほ乳びん
- 紙おむつ



◎ 火山の変化に注意

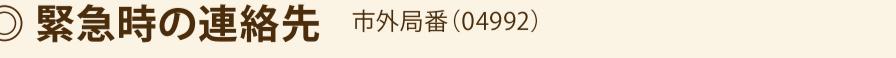
これらの現象を発見したときは、村役場、または警察署、消防団へ通報してください。

◎ 火山や避難に関する情報

神津島村ホームページ

気象庁ホームページ

東京都防災ホームページ



神津島村役場 8-0011

神津島村診療所 8-1121

神津島村駐在所 8-0037

新島警察署 8-0311

新島警察署 5-0381

気象庁火山監視・警報センター 0570-015-024

緊急時の連絡先 市外番号 (04992)

2 火山について



◎ 神津島の火山の特徴

神津島の火山には、本島北部の神戸山、中央部の天王山（てんじょうさん）などの溶岩ドーム群があります。天王山は、西暦838年の噴火で形成されました。この時の噴火で噴出した火砕サージ堆積物は、隣の式根島でも確認することができます。

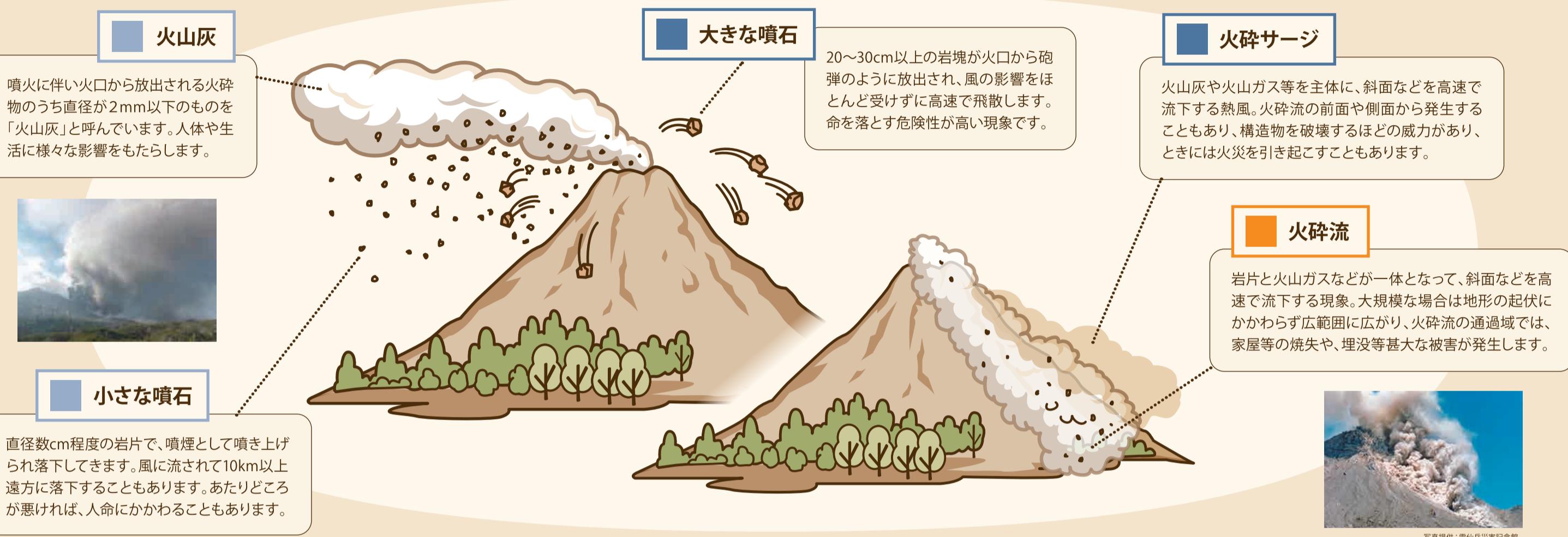


◎ 噴火はどこで起こる?

神津島の火山は、噴火のたびに火口位置が変わるために、あらかじめ噴火する場所を推定することは困難です。また、想定される火口の位置は、島内全域から浅海（島の海岸から水深100mくらいまでの範囲の海）まで広く分布しています。

◎ 神津島で考えられる火山現象

▷ 火碎流、火碎サージが生じやすく、火山灰、噴石等の発生も危惧されています。



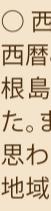
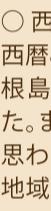
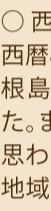
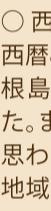
◎ その他の火山現象

- 降灰および火碎流後に発生する土石流
- 溶岩流
- 波浪
- 西暦838年の天王山の噴火
- 津波



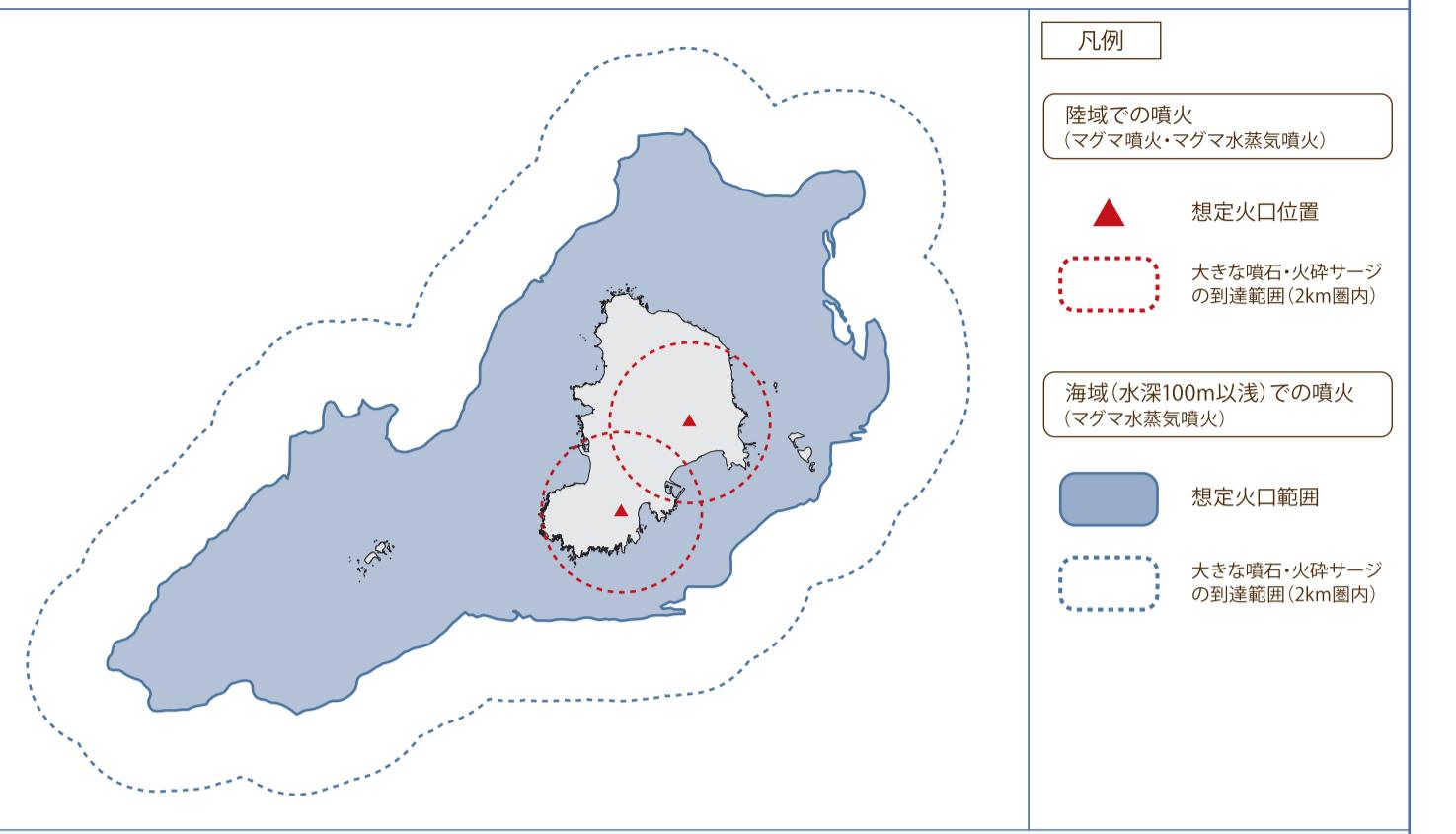
◎ 確率は低いが可能性がゼロではない火山現象

- 泥流や溶岩による土石流
- 波浪
- 西暦838年の天王山の噴火
- 津波

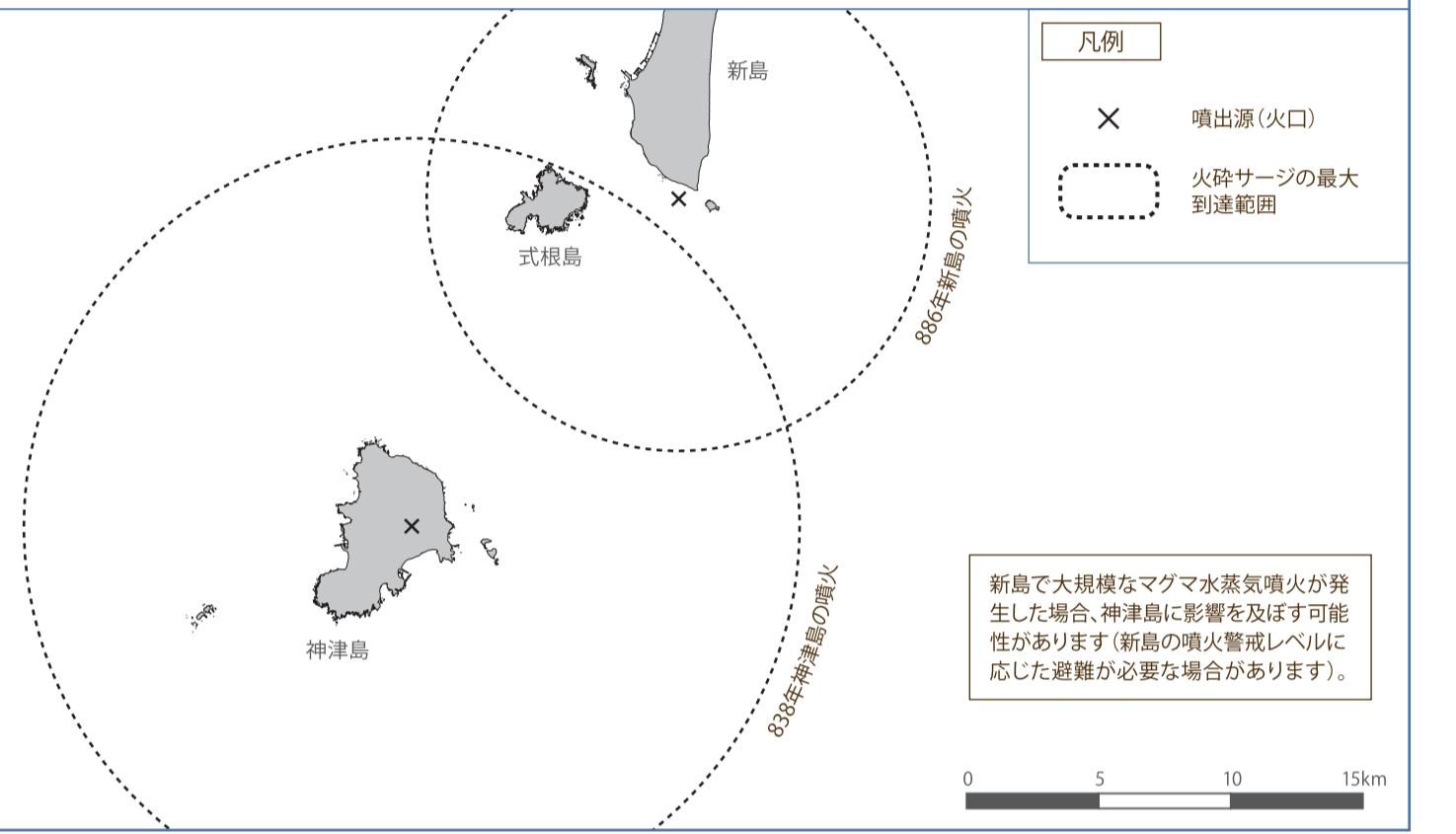


5 火山現象の影響範囲

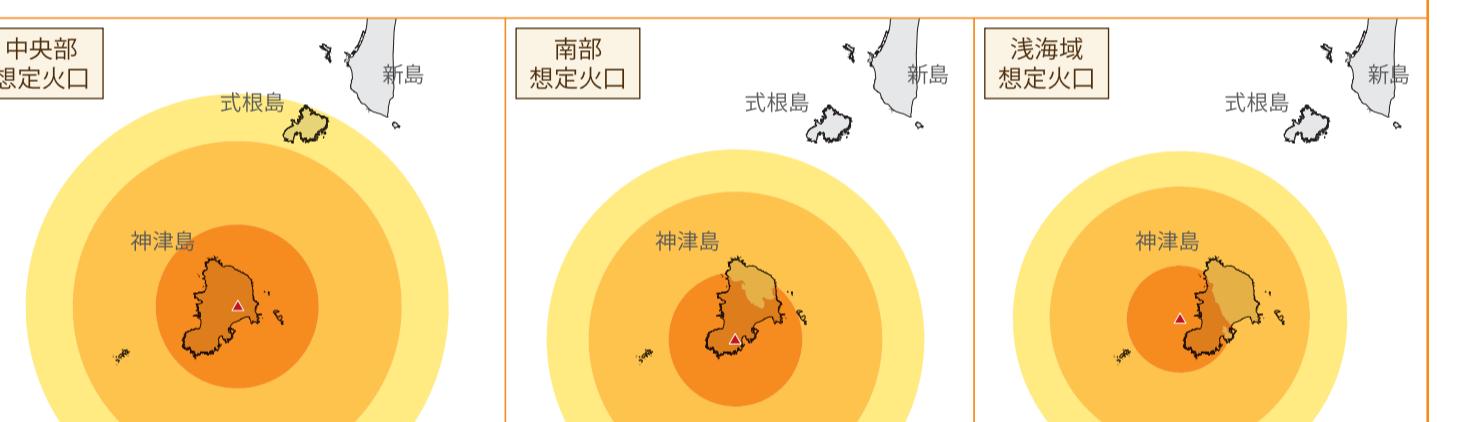
大きな噴石、火碎サージ



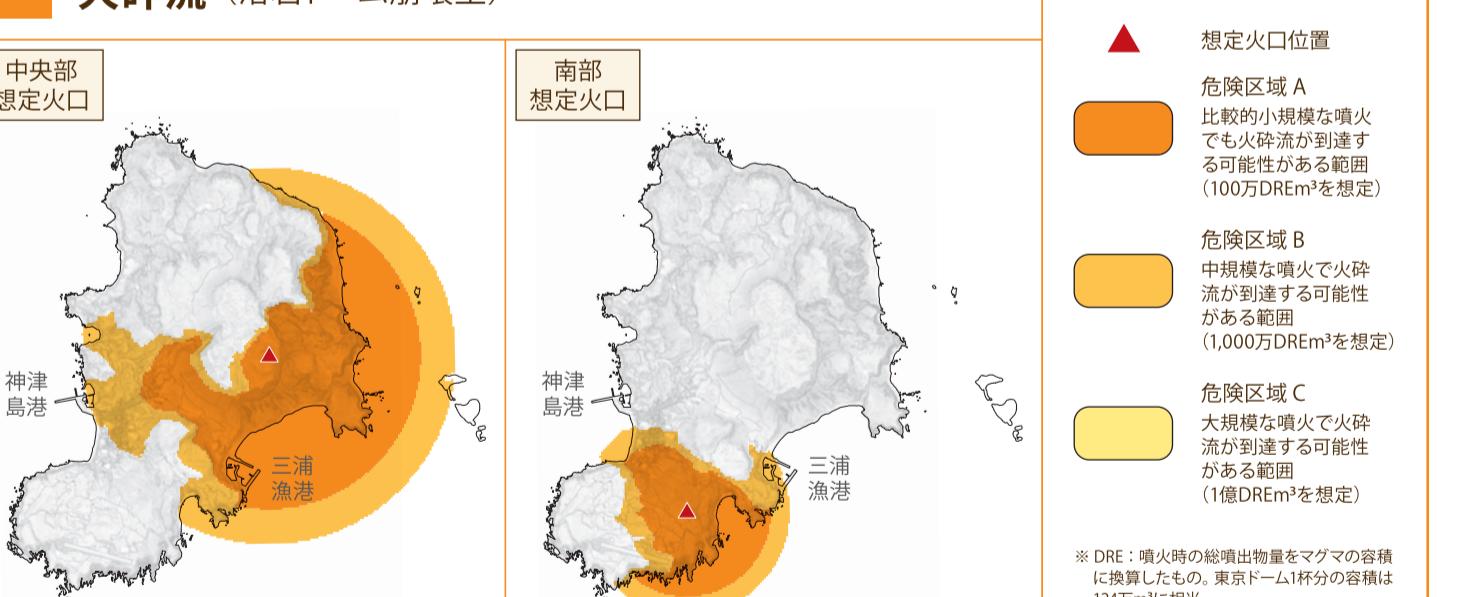
火碎サージ (過去の噴火実績)



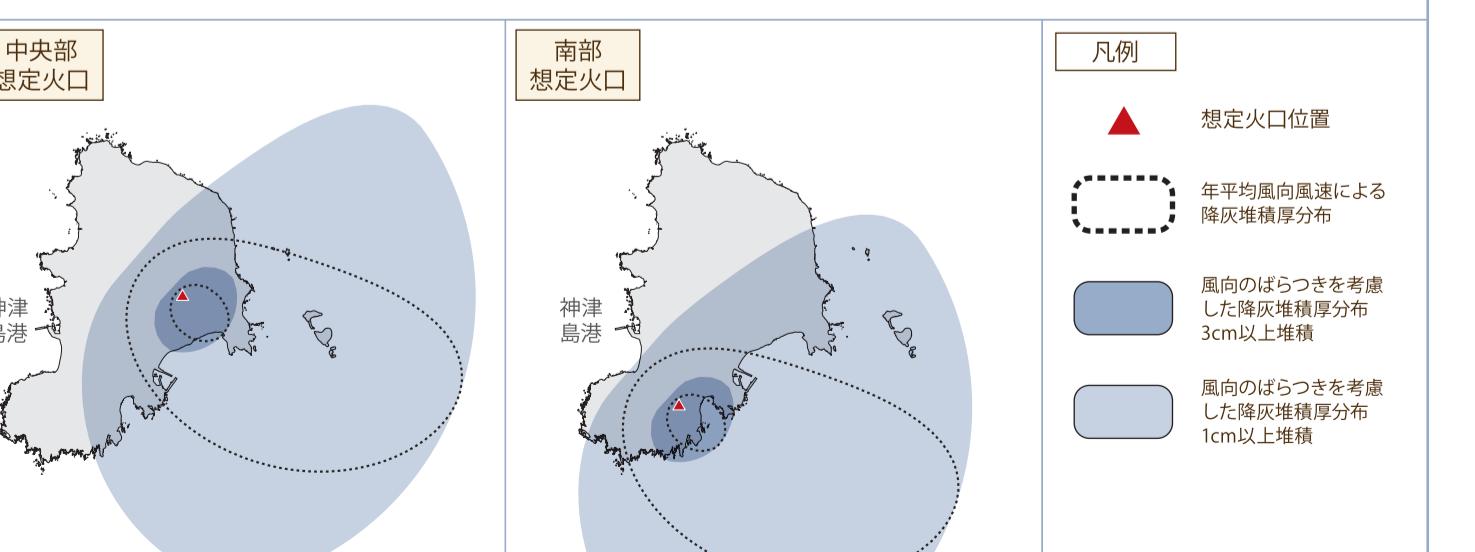
火碎流 (噴煙柱崩壊型)



火碎流 (溶岩ドーム崩壊型)



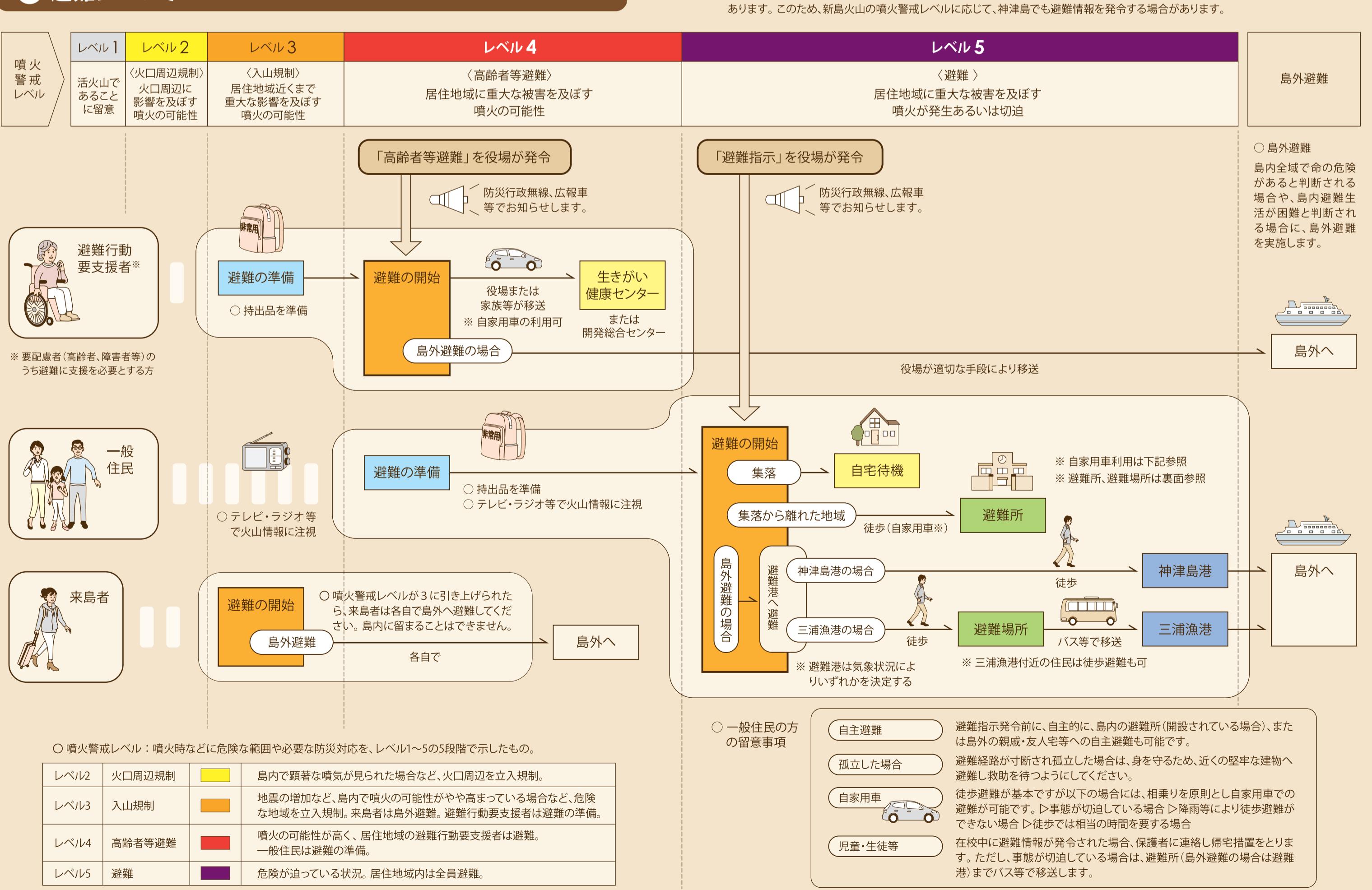
火山灰 (小さな噴石を含む) (100万DREm³)



※「火山現象の影響範囲」は、東京都の「神津島火山ハザードマップ」をもとに作成しています。
※想定火口位置は、火口が生じる可能性のある地點のひづきを示したもので、他の地點に火口が生じる可能性があります。
※さらに詳しい電子データは東京都防災ホームページから取得できます。(「神津島火山ハザードマップ」で検索)

4 避難について (避難の方法とタイミング)

※新島火山の噴火警戒レベルにも注意：新島で大規模な噴火が発生した場合、神津島まで影響が及ぶことがあります。このため、新島火山の噴火警戒レベルに応じて、神津島でも避難情報を発令する場合があります。



神津島村・火山防災マップ

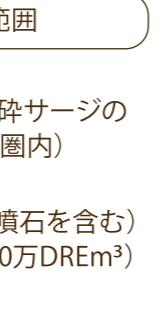
◎ 噴火の初期段階の影響範囲を示しています。

- この地図には、噴火活動により火山現象の影響範囲が広がる前の、島内避難の可能な段階を示しています。
 - 神津島では島内全域、及び周辺海域（水深100m以浅）で火口が生じる（噴火が発生する）可能性があります。この地図では、島内2箇所に火口を想定（▲）し、噴火の影響範囲を示しています。
 - 大きな噴石・火碎サージは、想定火口から概ね2km以内に到達すると予想されます。
 - 火山灰（小さな噴石を含む）は、想定火口から100万DREm³の火山灰（小さな噴石を含む）が噴出した場合に、堆積する範囲を予測したものです。
 - 噴火した場合、火口位置、噴火規模、風向等によって影響範囲外に達する可能性や、避難施設等を使用できない可能性があります。

避難場所	
1、2区	物忌奈命神社境内
3、4、6、7、10区	神津小学校校庭
5区	はまゆう保育園園庭
8区	神津高等学校校庭
9区	神津中学校校庭
	神津島村ヘリポート
	神津島村多目的広場

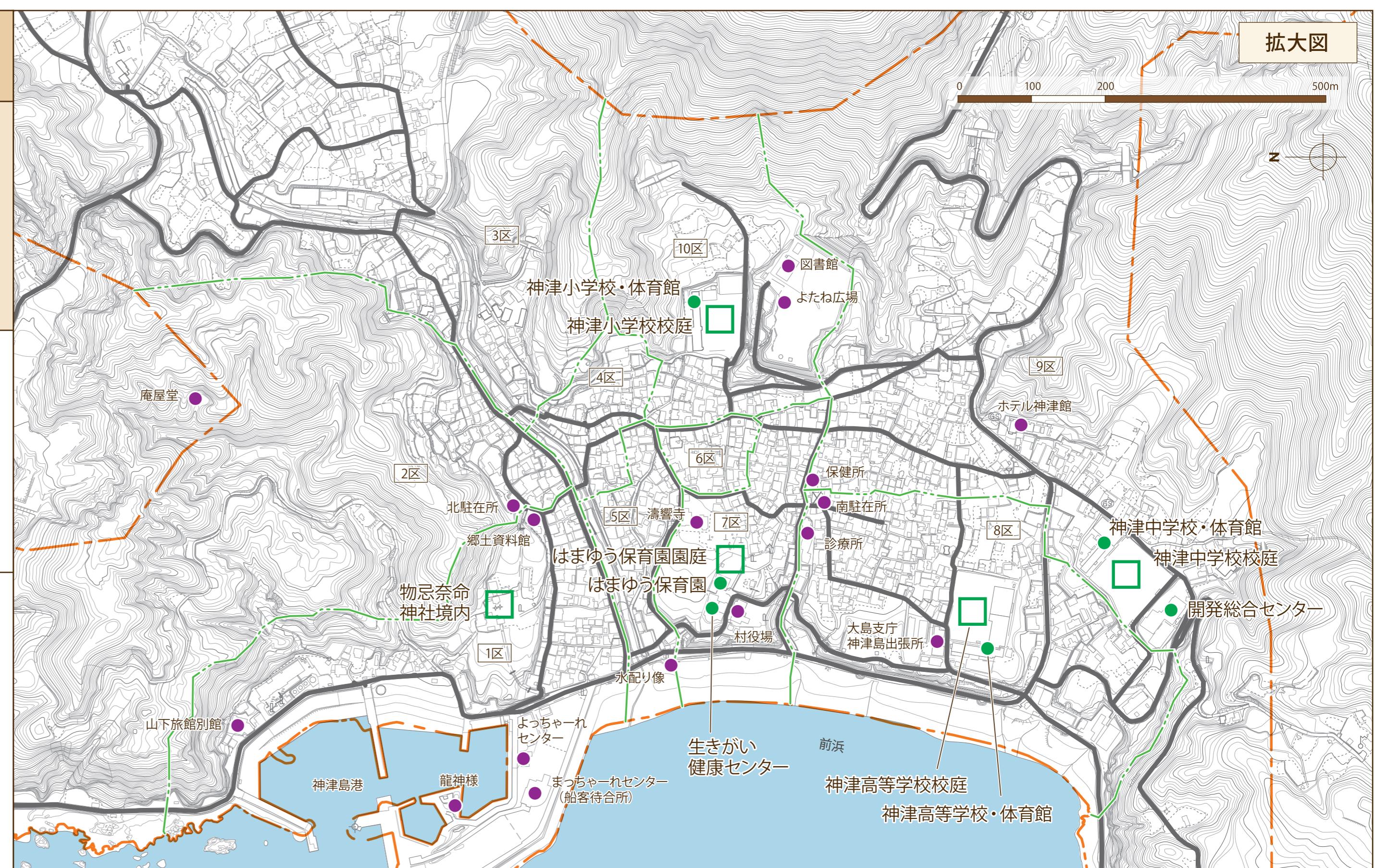
避難所	
1、5、6区	はまゆう保育園
	生きがい健康センター
2、3、4、7区	神津小学校・体育館
8、10区	神津中学校・体育館
9区	神津高等学校・体育館
区外	開発総合センター

列



※ DRE : 噴火時の総噴出物量をマグマの容積に換算したもの。
※ 東京ドーム1枚分の容積(124万m³)に相当

※ 東京ドーム1杯分の容積は124万m³に相当。



神津皇

